



世界に求められる理想的な企業へ。

SCALA GROUP

2023年6月期 通期 決算説明資料

株式会社スカラ 2023年8月14日

目次 CONTENTS

P 1 ▶ 3 1. 事業概要

P 4 ▶ 7 2. トピックス（2023年4月以降）

P 8 ▶ 24 3. 業績概況

P 25 ▶ 27 4. 会社概要

DXを基盤とした価値の提供

「社会」と「個人の生活」に対する価値の提供

社会に対する価値

社会を豊かにする



- 行政サービス・地方創生
- 産業創出・高度化 等

官民共創のあり方を再定義
企業、地域、国の成長モデルを構築

個人に対する価値

生活をより良くする

- 人材・教育・スポーツ
- ヘルスケア・保険 等



人の安心・安全・成長への寄与
教育のあり方を再定義

スカラの基盤

IT/AI/IoTを用いた DXによる課題解決



- デジタルソリューションの提供
- 現場（リアル）への応用・展開

デジタル技術の使われ方、
人と企業・企業と企業の関わり方を再定義

課題解決に向けた投資

- 投資（直接投資・間接投資）
- 新規事業の開発
- 人的ネットワークの構築



新規事業が創発される仕組みづくり

事業展開の状況

社会に対する価値

社会を豊かにする



- (株)エッグと(株)シフトセブンコンサルティングがふるさと納税業務システム領域において業務提携
- 官民共創インキュベーション拠点「逆プロポ・Lab@ARCH」を虎ノ門ヒルズ「ARCH」内に開設
- (株)エッグ、(株)ネクスウェイ、(株)TACTがAIコールを活用した実証実験を実施
- 乳牛ゲノム検査結果データ活用システム『eGプラス』のサービス提供を開始
- 牛の総合診療サポートツール『U-メディカルサポート』の提供を開始
- 『ASTER II』啓発版 岩手県普代村との実証実験を実施
- Web3領域でメンバーシップNFTを活用した『Fanique』の提供を開始
- 中小企業庁『地域・企業共生型ビジネス導入・創業促進事業』の事務局に2年連続選定
- **NEW** 岡山県津山市において官民7者で連携協定を締結

個人に対する価値

生活をより良くする



- (株)エッグが鳥取県米子市のマイナンバーカード普及促進事業を受託
- 「スマートヘルスケアプラットフォーム」の実現に向け、大塚製薬(株)・損害保険ジャパン(株)との協業を開始

スカラの基盤

DXによる課題解決 課題解決に向けた投資



- JETRO「EASEANにおけるアジアDX推進事業」に採択
- 実務支援型M&A推進サービス「特命M&A部」とM&A総合支援プラットフォーム「BATONZ (バトンズ)」の業務提携
- (株)みらいワークスと戦略的パートナーシップを締結
- Web3領域でのNFT新規事業を開始および(株)UPBONDへの出資
- **NEW** アレグロスマート(株)との共創により、地域課題の解決策を社会実装するデータビジネスを推進

目次 CONTENTS

P 1 ▶ 3 1. 事業概要

P 4 ▶ 7 2. **トピックス（2023年4月以降）**

P 8 ▶ 24 3. 業績概況

P 25 ▶ 27 4. 会社概要

岡山県津山市において官民7者で連携協定を締結

連結子会社の(株)スカラパートナーズは、岡山県津山市において津山市のワーケーション連携事業を推進し産業活性化と関係人口の創出を目指し、官民7者で連携協定を締結



< 2023年度の取り組み予定 >

- ワーケーションツアーの企画・運営
 - 域外のIT企業を対象に、2024年3月末までに、ワーケーションツアーを2回実施予定
- 地域のITファシリテート人材育成
 - 地域のIT化を牽引し、持続的にまちづくりを推進できる人材の育成
 - 地域内外のマッチングイベント等を企画・運営（ワークショップやデジタル体験会等）

詳細は[こちら](#)をご覧ください

子会社株式の譲渡

2023年6月29日の取締役会において、当社が保有する(株)コネクトエージェンシーおよび
ジェイ・フェニックス・リサーチ(株)の全株式を譲渡することを決議

(株)コネクトエージェンシーの譲渡先は(株)アジャストワン、譲渡実行日は2023年6月30日
ジェイ・フェニックス・リサーチ(株)の譲渡先は同社代表取締役社長の宮下氏、
譲渡実行日は2023年8月4日

詳細は[こちら](#)をご覧ください

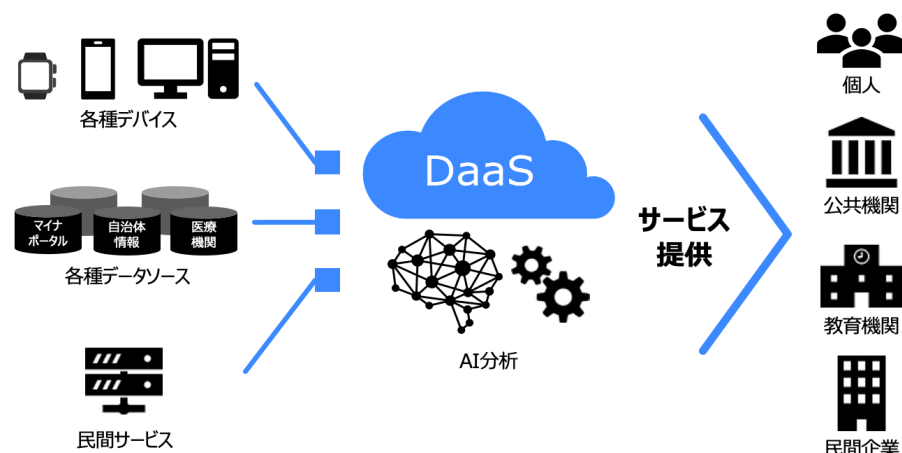
アレグロスマート(株)との共創により、 地域課題の解決策を社会実装するデータビジネスを推進

アレグロスマート(株)の「Newtroid」を活用し、地方自治体が抱える社会課題に対して、自治体職員等がノーコードで仮説立案、データ解析、可視化できる環境を構築するコンサルティングおよびシステム構築サービスの提供を開始

<今後の展開>

産官学で保有するデータの収集・分析により予測モデルを構築し、地方自治体が抱える社会課題解決に繋がる気づきを与える手段を高い拡張性と柔軟性を持って提供

フレイル予防事業のノウハウを活用し、PHRデータを仮説に基づき解析することによって、地域の健康寿命延伸による、医療・介護費の削減を目指す取り組みも検討



詳細は[こちら](#)をご覧ください

目次 CONTENTS

- P 1 ▶ 3 1. 事業概要
- P 4 ▶ 7 2. トピックス（2023年4月以降）
- P 8 ▶ 24 3. 業績概況**
-
- P 25 ▶ 27 4. 会社概要

3. 業績概況

セグメント別売上収益・営業利益（IFRS）

[単位：百万円]

	2022年6月期 通期			2023年6月期 通期			前期比	
	売上収益	営業利益	営業利益率	売上収益	営業利益	営業利益率	売上収益	営業利益
連結	9,569	▲191	-	12,644	259	2.1%	+3,075	+451
IT/AI/IoT/DX事業	4,461	464	10.4%	6,073	409	6.7%	+1,611	▲55
カスタマーサポート事業	1,357	▲31	-	1,204	▲61	-	▲152	▲30
人材・教育事業	1,468	61	4.2%	1,704	203	11.9%	+235	+141
EC事業	1,654	239	14.5%	2,138	316	14.8%	+483	+77
保険事業	452	▲28	-	1,245	▲196	-	+792	▲167
投資・ インキュベーション事業	174	▲854	-	278	▲444	-	+104	+410

※保険事業は2022年6月期4Qから連結開始

3. 業績概況

セグメント別売上収益・全社費用配賦前営業利益 (Non-GAAP)

[単位：百万円]

	2022年6月期 通期			2023年6月期 通期			前期比	
	売上収益	全社費用配賦前 営業利益	営業利益率	売上収益	全社費用配賦前 営業利益	営業利益率	売上収益	全社費用配賦前 営業利益
連結	9,569	48	0.5%	12,644	256	2.0%	+3,075	+207
(全社費用)	-	▲1,100	-	-	▲1,027	-	-	-
IT/AI/IoT/DX事業	4,461	1,050	23.6%	6,073	1,062	17.5%	+1,611	+11
カスタマーサポート事業	1,357	▲28	-	1,204	▲52	-	▲152	▲24
人材・教育事業	1,468	227	15.5%	1,704	295	17.3%	+235	+68
EC事業	1,654	281	17.0%	2,138	379	17.7%	+483	+98
保険事業	452	▲28	-	1,245	▲160	-	+792	▲131
投資・ インキュベーション事業	174	▲353	-	278	▲240	-	+104	+113

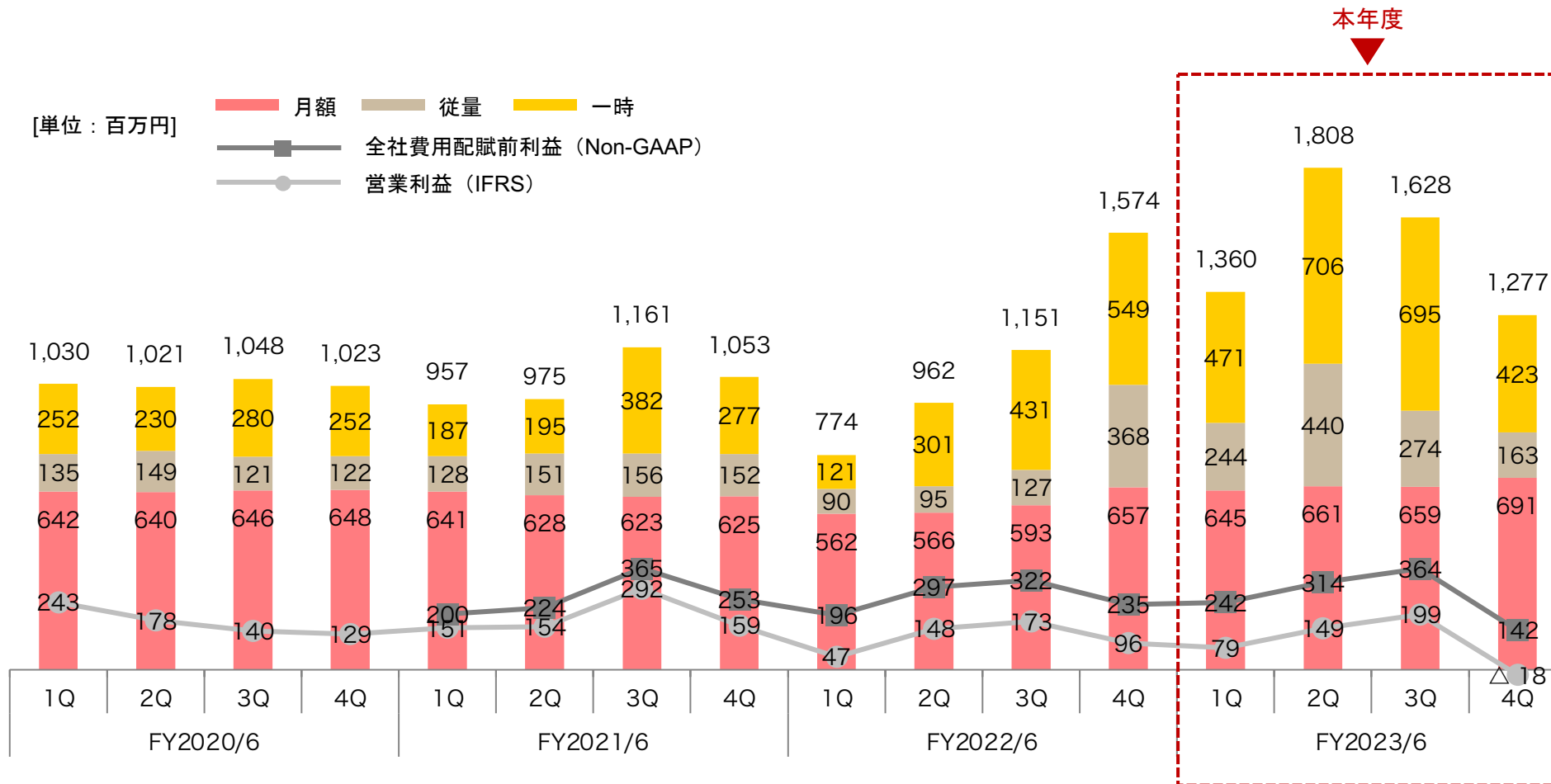
※連結数値はNon-GAAP

※保険事業は2022年6月期4Qから連結開始

3. 業績概況

IT/AI/IoT/DX事業（売上・利益の推移）

■ 売上収益は前年同期比プラス36%（通期）



※2021年6月期から全社費用配賦前利益（Non-GAAP）を算出
 ※エッグは2022年6月期3Qから連結開始

IT/AI/IoT/DX事業（概況と取り組み）

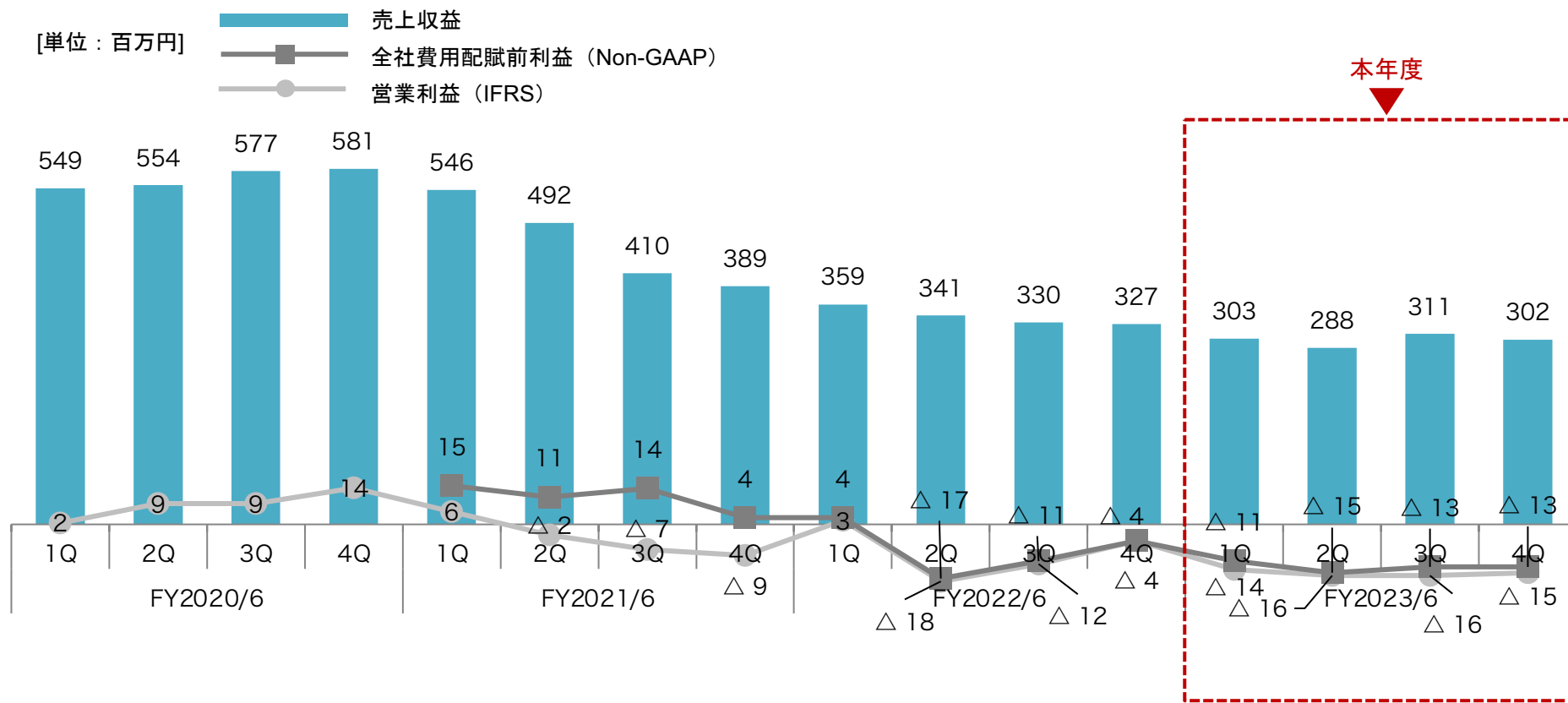
従前からの取り組みが結実しており、今後も継続して新たな取り組みに着手

- (株)スカラコミュニケーションズ、大塚製薬(株)、損害保険ジャパン(株)の3社で、ヘルスケア領域における「スマートヘルスケアプラットフォーム」の開発を進めている。自身の生活習慣（睡眠時間、運動時間等）、体の状態（体重等）等の基礎情報から、個別化された健康サポートを促し、健康の維持・増進を図るためのサービスとなる。既に多くの使用実績を積み重ね、2024年本格的なサービス提供の開始を検討している
- 鳥取県国民健康保険団体連合会から医療介護データベースの分析システム「とっとり健康+（プラス）」の開発保守を受託、今後も継続的な開発を見込む

3. 業績概況

カスタマーサポート事業 (売上・利益の推移)

- 新規案件の開始や需要増により、売上収益は持ち直しの兆し



※2021年6月期から全社費用配賦前利益 (Non-GAAP) を算出

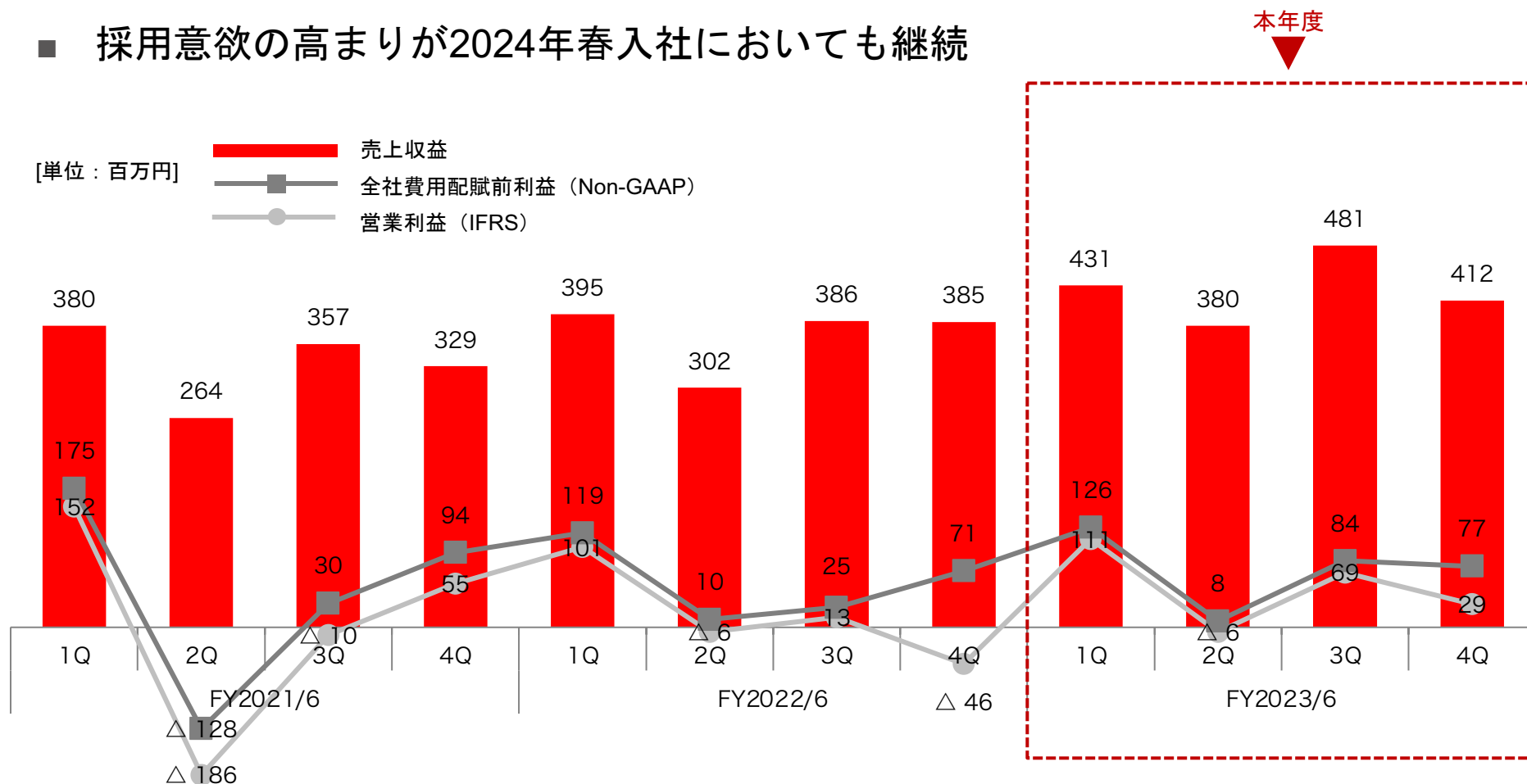
カスタマーサポート事業（概況と取り組み）

- 外部に委託していた業務の内製化も順調に進捗
- 新規案件開拓等組織体制の強化に伴い先行投資が続いていたが、大型コールセンター案件を受注したことで、来期期初より収支改善が見込まれる

3. 業績概況

人材・教育事業（売上・利益の推移）

- 売上収益は各四半期において前期同期比プラス
- 採用意欲の高まりが2024年春入社においても継続



※2021年6月期から全社費用配賦前利益（Non-GAAP）を算出

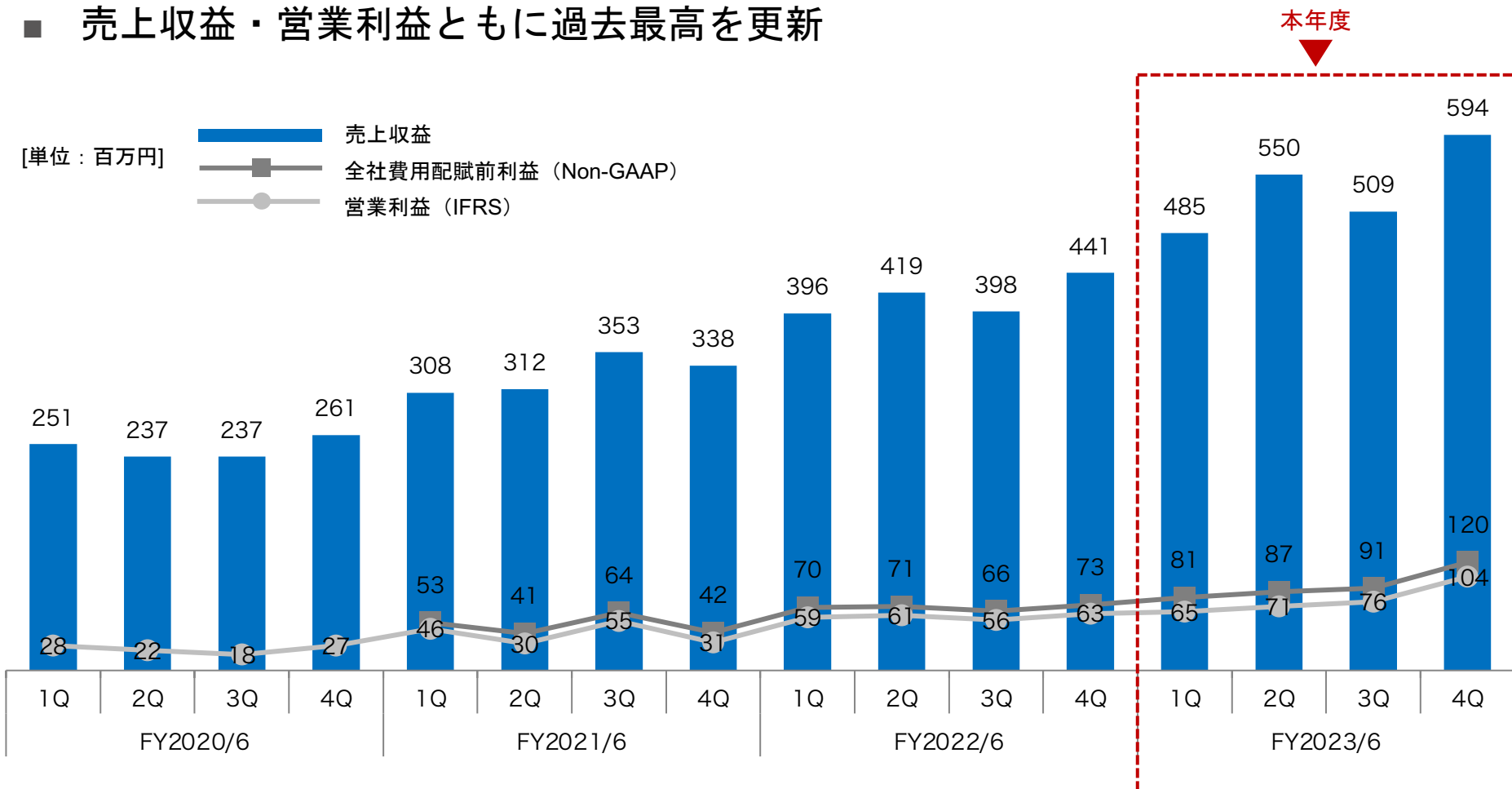
人材・教育事業（概況と取り組み）

- 学童『UK Academy 仲町台』では英語学習に特化した『Global Education Center』を4月に開校したところ、好評により定員に達したことから10月にクラス増設を予定
- プロバスケットボールチーム「さいたまブロンコス」では、メンバーシップNFT（非代替トークン）を活用した「新しい形のファンクラブ」を開設し、来季募集を開始

3. 業績概況

EC事業（売上・利益の推移）

- 売上収益成長率は当期29%（4期平均25%）
- 売上収益・営業利益ともに過去最高を更新



※2021年6月期から全社費用配賦前利益（Non-GAAP）を算出

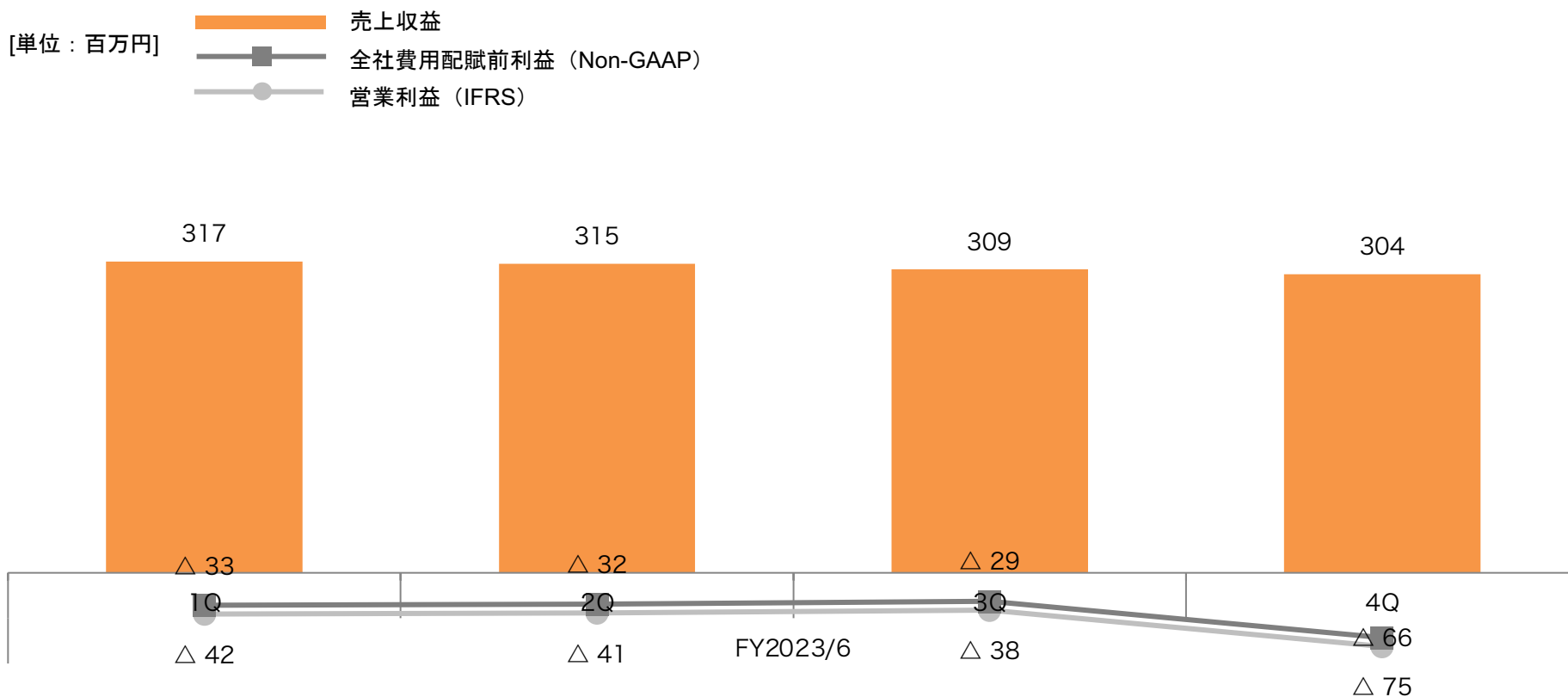
EC事業（概況と取り組み）

- 遊々亭会員数 前期末時点18.8万人 → 当期末時点24.1万人
- 5月にリリースしたAandroidアプリは順調にユーザー数を伸ばす
- 今後も最新のテクノロジーの導入検討を積極的に推進し、快適なUI/UXの追求を継続

3. 業績概況

保険事業（売上・利益の推移）

- 売上収益は同水準を維持
- 営業利益は一時的な責任準備金の積み立てによる影響



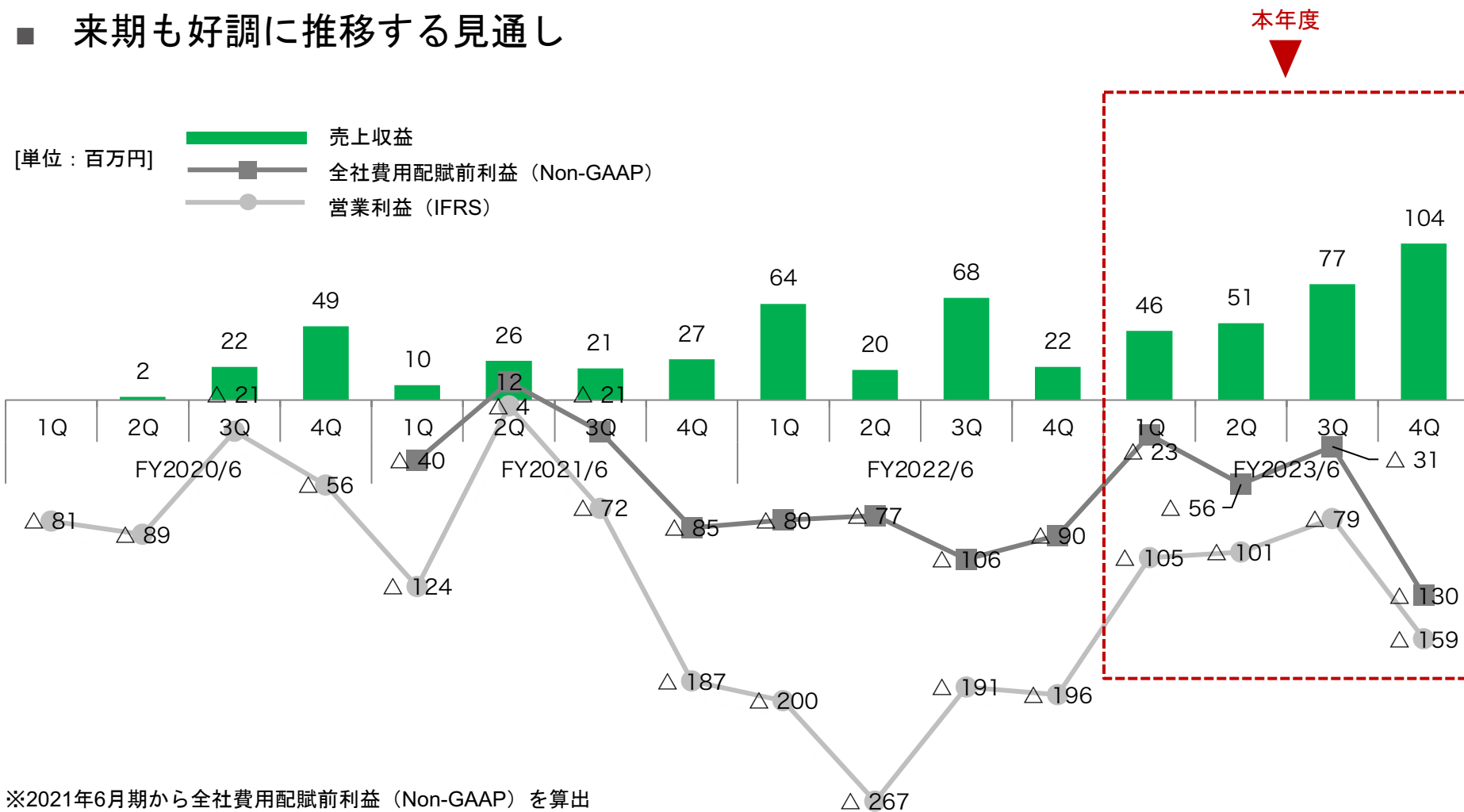
保険事業（概況と取り組み）

- 「1日当たりの治療費」や「請求回数」に制限を設けない等の手厚い補償内容を強みとして、ブランディングや認知度の確立、販売チャネルの拡大に取り組む
- 幅広い顧客ニーズに応えられるよう、大切なペットの更なる安心安全を担保できる新商品の開発に注力

3. 業績概況

投資・インキュベーション事業 (売上・利益の推移)

- 収益拡大フェーズに突入
- 来期も好調に推移する見通し



※2021年6月期から全社費用配賦前利益 (Non-GAAP) を算出

投資・インキュベーション事業（概況と取り組み）

- 森ビル(株)運営の「ARCH」に昨年開設した「逆プロポ・Lab@ARCH」には、本年7月末までの10ヶ月で、のべ90自治体244名、のべ125社267名が訪れ、官民のさまざまな交流が行われる
- 自治体の社会課題をビジネス視点に翻訳して企業に提供し、事業創出を支援する「逆プロポ・コンシェルジュ」では、京都市公民連携・課題解決推進事業「KYOTO CITY OPEN LABO」業務受託をはじめ、磐田市や豊田市からも官民共創業務を受託、その他、湖西市、藤沢市、奈良県吉野町、愛西市でも本サービスの利用を開始
- 2050年カーボンニュートラルの実現に向けたモデルケースの創出を目指し、伊丹市・飯南町・阪南市とともに「脱炭素に向けた地域循環共生に関する協定」を締結、全国初の官民共創によるソーシャルクレジット創出に向けて動き出す

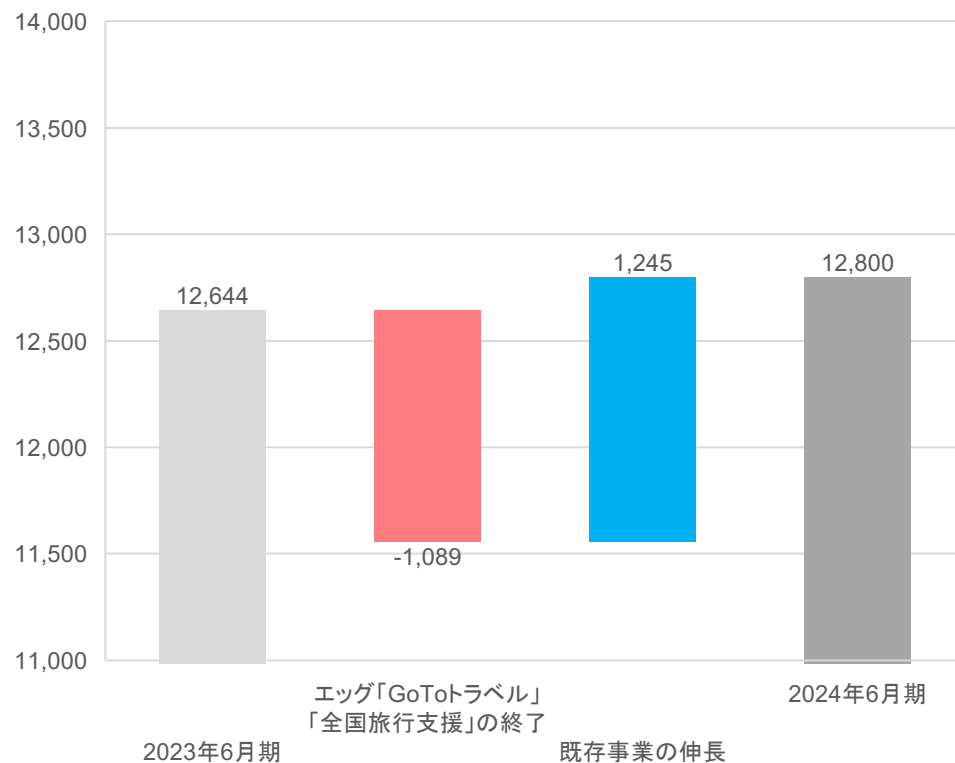
3. 業績概況

連結業績予想 (IFRS)

[単位：百万円]

	2023年6月期 (実績)	2024年6月期 (予想)	前期比
売上収益	12,644	12,800	+155
営業利益	259	650	+390
税引前利益	233	620	+386
当期利益	▲213	430	+643
親会社の所有者に帰属する当期利益	▲218	420	+638

売上収益の増減要因



中期経営計画の見直し

エグゼクティブサマリー

中長期戦略

- グループで創造する社会価値の中心に「人の成長に繋がる機会提供」を据え、サービスを提供
- 人的資本経営も鑑み、グループ内においても人の可能性を最大限に引き出す仕組み・施策を講じる
- グループは「人の成長プラットフォーム」となり、経営資源や知見を循環、社会価値と企業価値の両立を実現

中期経営計画

- 2024年～2026年は「堅実な成長に向けた基盤づくり」に注力
- 重点施策
 - 事業注力領域：グループ内外の人の成長に関する事業に注力
 - 事業連携構造：「社会課題の案件化」「グループ内の個別事業とパートナーで共創」
「実現した価値に共感した人材・パートナーや新たな社会課題が集まる」の循環構造を形成
 - 経営管理基盤の強化：収益力の強化、シェアード部門の設置、人材活性化の制度、モニタリングの強化
- 2026年6月期は、売上収益 155億円／営業利益 20億円の達成を目指す

詳細はこちらをご覧ください

https://scalagr.jp/pdf/ir/release/midtermplan_20230814.pdf

目次 CONTENTS

- P 1 ▶ 3 1. 事業概要
 - P 4 ▶ 7 2. トピックス（2023年4月以降）
 - P 8 ▶ 24 3. 業績概況
 - P 25 ▶ 27 4. 会社概要**
-

4. 会社概要

会社概要

会社名	株式会社スカラ（東証プライム 証券コード：4845）	
所在地	東京都渋谷区渋谷2-21-1 渋谷ヒカリエ32F	
設立年月日	1991年12月11日	
事業内容	IT/AI/IoT/DX事業、カスタマーサポート事業、人材・教育事業 EC事業、保険事業、投資・インキュベーション事業	
従業員	648名（2023年6月末時点 連結）	
平均年齢	35.5歳	
資本金	1,787百万円	
決算期	6月30日	
子会社等	株式会社スカラコミュニケーションズ 株式会社スカラサービス 合同会社SCLキャピタル 株式会社フォーハンズ 株式会社エッグ 株式会社レオコネクト（議決権比率66%） 株式会社ソーシャルスタジオ（議決権比率51%） 株式会社ソーシャル・エックス（議決権比率75%）	株式会社スカラパートナーズ 株式会社スカラプレイス 株式会社アスリートプランニング 株式会社readytowork 日本ペット少額短期保険株式会社 株式会社Retool（議決権比率66%） 株式会社スポーツストーリーズ（議決権比率80%）

※ 子会社等については、2023年8月14日時点の情報を掲載しております。

4. 会社概要

事業概要

開示セグメント	グループ会社	事業内容
IT/AI/IoT/DX事業	・株式会社スカラコミュニケーションズ ・株式会社スカラサービス	SaaS/ASPサービス提供
	・株式会社スカラネクスト ^(※1) ・株式会社readytowork	SaaS/ASPサービスの開発、オフショア開発
	・株式会社コネクトエージェンシー ^(※2)	クラウド型PBXサービス
	・株式会社Retool	クラウド活動管理ツールの企画・開発・販売
	・株式会社ソーシャルスタジオ	行政・自治体のDXやSDGs推進
	・株式会社エッグ	システム開発・システム保守・ネットワーク構築
カスタマーサポート事業	・株式会社レオコネクト	カスタマーサポート(コールセンター運営等)のコンサルティング
	・株式会社スカラサービス ^(※3)	コールセンターサービス
人材・教育事業	・株式会社アスリートプランニング	人材採用(新卒採用、中途採用)支援等
	・株式会社フォーハンズ	幼児教育、コミュニティ開発支援等
	・株式会社スポーツストーリーズ	運動教育、スポーツ教室運営等
	・株式会社ブロンコス20	バスケットボールのクラブチームの運営
EC事業	・株式会社スカラプレイス	対戦型ゲームのトレーディングカード売買ECサイトの運営
保健事業	・日本ペット少額短期保険株式会社	少額短期保険業
投資・インキュベーション事業	・株式会社スカラ	グループ本社・持株会社機能・投資事業
	・株式会社スカラパートナーズ	イノベーション・インキュベーション・インベストメント
	・ジェイ・フェニックス・リサーチ株式会社 ^(※4)	価値創造経営支援(アナリストレポート・統合報告書作成、ファンド運営支援)
	・合同会社SCLキャピタル	投資ファンド運営
	・SCSV1号投資事業有限責任組合	投資ファンド
	・株式会社ソーシャル・エックス	官民共創プラットフォーム「逆プロポ」の企画運営

※1：2023年4月1日を効力発生日として、株式会社スカラコミュニケーションズを存続会社、株式会社スカラネクストを消滅会社とする吸収合併を行いました。

※2：2023年6月30日付で、株式会社コネクトエージェンシーの全株式を株式会社アジャストワンに売却し、当社の子会社ではなくなりました。

※3：コールセンターサービスをカスタマーサポート事業に含めております。

※4：2023年8月4日付で、ジェイ・フェニックス・リサーチ株式会社の全株式を宮下修氏に売却し、当社の子会社ではなくなりました。



世界に求められる理想的な企業へ。

- 本資料には将来の予測に関する記述が含まれていますが、それらの記述は、資料作成時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。様々な要因の変化等により、実際の業績とは異なる可能性がありますことを御承知おき下さい。
- 本資料の作成に当たっては、記載されている情報に誤り・遺漏等が無いよう細心の注意を払っておりますが、その情報の正確性および完全性を保証するものではありません。
- 本資料は監査法人による会計監査を受けておりません。